

編集部 滑稽俳句を始められたきっかけは？

月 城 もともと文章を書くことが好きで、十七音

しかない俳句には、最初は広がりを感じられず興味を持ってませんでした。ところが、太田史彩先生の書道のお稽古の中で俳句の句会もあり、皆さんの表現を耳にしている内にウズウズ…ウズウズ…として、とうとうのめり込んでしまいました。太田先生に「ユニークな句が多い」と言っていたこともきっかけです。

編集部 滑稽俳句の魅力とは？

月 城 思わず「あるある！」と同調し、笑いを共有できるところかと思います。

編集部 俳句における「滑稽」とは？

月 城 季節の中で感じ得た、素直な、時にブラックな心の眩きでしょうか。

編集部 滑稽俳句を始めて良かった事は？

月 城 日常の中に楽しいことを探してしまうので、笑顔でいることが多くなりました。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

月 城 自分が楽しい～！ と思うことが第一だと思います。

【代表句】

食欲は落ちていません鰻の日
新米にダイエットなんて頓挫する
部屋隅の蛾の背中には盗撮機
暮寛ぐなかれ戸口先
鱒酒の冷めるを待てずぺろり舐め